

# 会派行政視察報告書

- 10月8日（水）「白河市」  
白河市農産物ブランドについて

2014年

知多市議会「市民クラブ」

視察報告書

日 時	平成26年10月 8 日（水）午前 10 時から正午まで
視 察 先	福島県白河市
視 察 項 目	白河市農産物ブランドについて
視 察 者	市民クラブ（近藤久義、小坂 昇、夏目 豊、向山孝史、荻田信孝、島崎昭三、古俣泰浩）
視 察 内 容	<p>1 農商工連携推進事業の概要</p> <p>(1) 全国に認知された「白河ラーメン」、「白河そば」、「白河だるま」などについては、ある程度知名度を有しているが、農産物においては、米やトマトなど優れた産品が数多くあるものの、大きな市場を持つ競争の激しい首都圏において、その独自性や優位性を十分に発揮できず、認知度は総じて低い状況に甘んじている。</p> <p>(2) 農産物等のブランド化の必要性</p> <p>今後、白河市の地場産業の競争力や地域社会の活力を高め、経済を持続的に活性化させていくためには、市産品の高い付加価値を実現し、新たな需要開拓を可能とする取り組みなど、市産品のさらなる振興を図っていくことが重要かつ不可欠である。同市は、こうした地域の資源を有効に活用するため、農林漁業者と商工業者の方々がお互いの技術やノウハウを持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組む、農商工連携推進事業の三本の柱として、「農産物販売促進事業」「農商工連携促進事業」「白河ブランド戦略事業」を掲げ、特に白河産の農産物や加工品のブランド化に力を注いでいる。</p> <p>2 白河ブランドとは</p> <p>白河市では、米やトマトなどの農産物及びその加工品等については優れた産品があるにもかかわらず、消費地においてはその知名度は低く、消費者等へ魅力を伝えきれていない現状である。</p> <p>そのため、平成20年度に策定した「白河市第一次総合計画」の重点戦略プラン（重点施策）の一つに「農産物等の地域ブランド化と地産地消の推進」を掲げ、白河の誇る優れた産品を「白河ブランド」として認証し、内外に向けてPRしていくことで、認知度の向上、新規販路・需要の拡大による地域産業の振興、地域の活性化を目指している。</p>
所 感	<p>福島県白河市での市産品を高付加価値化し新たな需要を開拓する取り組みについて説明を受けた。同市では、農商工連携推進事業の柱の一つとして、白河ブランド戦略事業と位置付け、平成20年に「白河市農産物ブランド化促進研究会」を設置した。22年から具体的に認証制度が実施され、現在16品目が認証されている。認証に当たっては白河市の土地、資源の活用で生産された品物である事等、認証基準が定められ、認証機関として「白河市農産物ブランド戦略委員会」を設置している。認証品には認証マークの使用が認められ白河ブランドとして、付加価値を高める効果を期待している。白河市においては白河ブランドがようやく市民には認知されつつあるが、全国的な広がりには至っていない。</p> <p>全国で地元産品をブランド化し地域の活性化に努めようとする動きが広がっているが、成功・失敗事例をよく検証し、本市においても地域ブランド化の推進にあたっては生産者、商工会、行政等の関係者が一層の創意工夫が必要との思いを持った視察であった。</p>